

創刊号刊行に向けて

このたび、『グローバル・コミュニケーション研究』創刊号が刊行の運びとなり、学長として、初代所長として、大変嬉しく感じております。

グローバル・コミュニケーション研究所 (Global Communication Institute (GCI)) は、グローバル化の進展等といった社会の動きを踏まえ、相互理解の深化を通して世界平和の礎を築くという「建学の精神」の具現化をさらに促進するため、2012年4月、異文化コミュニケーション研究所と国際問題研究所の統合により発足致しました。新研究所は二つの旧研究所の流れを汲み、異文化コミュニケーション、国際関係、外交問題、地域研究、その他グローバルな問題全般にわたる研究および教育・啓蒙活動を中心的な活動としています。具体的には、当研究所の公募プロジェクトによる本学教員の研究の支援、多岐にわたるテーマの講演会・シンポジウム・座談会・上映会の開催、そして、本件紀要『グローバル・コミュニケーション研究』の刊行が主な活動です。なお、開催した講演会やシンポジウムなどについては、その概要を別冊『GCI キャンパス・レクチャー』報告集の刊行によって記録していますので、併せてご覧いただければ幸いです。

グローバル化時代の現在、世界はお互いを必要とする新しいステージへと向かっています。世界の国々とのつながりはますます強化され、グローバル社会で生きるために真に必要な能力——すなわち、異文化を理解し、コミュニケーションができるとともに、自国の価値観や自分の意思を的確に伝える能力——を備えた人材を育成することが重要となっています。こうした動向のなか、2012年は、本学にとって節目の年となりました。開学以来の環太平洋重視の考え方に基づき、成長著しいアジアとイベロアメリカ地域に着目し、アジア言語学科とイベロアメリカ言語学科へとこれまで

の両地域の専攻言語を再編しました。また、同年、本学が文部科学省「グローバル人材育成推進事業」に採択されたことは、本学のこうした取り組みの成果とみることができます。さらに、同年、本学は、日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所と、連携・協力に関する協定を締結し、両組織が基盤とする幕張新都心より、アジア関連の研究やイベントを発信する共同体制を整えました。

『グローバル・コミュニケーション研究』は二部構成になっています。前半は、当研究所の研究活動に関わるテーマの「特集」、後半は本学教員による研究論文の自由投稿です。創刊号では、アジア経済研究所に所属する研究者の方々と本学の教員の執筆によって「注目のアジア」と題する特集を組みました。本紀要が、変化し続けるグローバル社会を理解する一助となるよう、努力していきます。

神田外語大学 学長
グローバル・コミュニケーション研究所 所長
酒井 邦弥